

令和7年度 第3回海津市多文化共生推進協議会 概要報告書

1. 開催日時／場所

令和7年12月23日（火）14：00～15：56／海津市役所東館4階災害対策本部室

2. 出席者

【委員】：松尾 憲暁、グエン アイン トウアン、ラマ ヒム クマリ、ヴ マイン クオン、
上平 博子、中村 弘子、伊藤 友美、小里 衣理、森 登志男、近藤 泰代、
内藤 陽子、佐藤 勇夫、伊藤 義美、坂口 亨

【幹事】：総務企画部長、市民課長、生活・環境課長（代理）、文化・スポーツ課長、
観光・シティプロモーション課長、学校教育課長

【事務局】：企画課長、企画課課長補佐、主任

3. 会議概要

(1) 報告事項

①市民アンケート調査及び事業所等へのヒアリング調査結果について

資料1、資料1-1及び資料1-2に基づき説明した。

②多文化共生社会を取り巻く国の動きについて

松尾会長より、資料2に基づき説明していただいた。

○会長から以下の意見をいただいた

・国の動向を踏まえ、計画を策定すべきと考える。1月の「総合的対応策」の改訂を待ち、計画を策定するとなると、3月の策定は困難なため、策定スケジュールの見直しが必要。

・策定スケジュールの変更について、本日の協議事項に追加してはどうかと考える。

⇒各委員、会長意見に対して異議なし

⇒協議事項に「策定スケジュールの変更について」を追加する

(2) 協議事項

①策定スケジュールの変更について

追加資料に基づき説明した。

⇒各委員、「海津市多文化共生推進計画」策定スケジュール（案）のとおり進めることに対し、異議なし

②（仮）海津市多文化共生推進計画 骨子（案）について

資料3に基づき説明した

○委員から以下の意見をいただいた

・骨子（案）の基本理念について、市の個性を反映し、より魅力的で市民に親しみやすいものに工夫したほうがよい。

○そのほか、計画の策定について委員から以下の意見をいただいた

- ・国籍ごとの情報収集手段に合わせた効果的な情報提供の仕組みの整備が必要なのではないか。
- ・地域行事やイベントを通して地域との自然な交流を深め、外国籍市民を隣人として受け入れる環境づくりが求められる。
- ・長年市に住む外国籍市民がアンバサダーとなり、同国出身者を支援する仕組みの構築が有効だと考える。
- ・外国籍市民への支援には、段階がある。この段階を理解した上で計画を立てるとよい。
 - 段階 1：日本で生きていくための支援。
 - 段階 2：日本語や日本社会の仕組みを理解し、共生をしていくための支援。
 - 段階 3：交流を深めるための支援
- ・企業の外国人労働者の採用を促進するため、採用ルール等を作った企業に対して助成を行うのはどうか。